



武庫川女子大学文学部 日本語日本文学科
武庫川女子大学短期大学部 日本語文化学科

参加費不要!
事前の申込みも不要です

第2回公開講座「ことばの力で未来を拓く」
ひら

万葉びとから教えられたこと

2015

9/19 土曜日

13:00開場・13:30開演

1. 上野誠氏による講演
2. 講師と本学学生とによる「楽しいトークセッション」
(コーディネーター:本学教授 影山 尚之)

武庫川女子大学中央キャンパス
文学2号館11教室(L11-11)
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

講師

うえの まこと
上野 誠 氏

現在、奈良大学文学部 教授(国文学科)。
国際日本文化研究センター客員教授。
博士(文学)。

1960年、福岡県生まれ。国学院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。

著書『古代日本の文芸空間-万葉挽歌と葬送儀礼』(雄山閣出版)、『万葉びとの生活空間-歌・庭園・くらし-』(塙書房)、『芸能伝承の民俗誌的研究-カタとココロを伝えるくふう-』(世界思想社)、『大和三山の古代』(2008年、講談社)、『万葉びとの奈良』(2010年、新潮社)、『よしのよく見よ』(2011年、角川学芸出版)、『万葉挽歌のこころ-夢と死の古代学-』(2012年、角川学芸出版)など多数。最新の著書は『古典不要論への反撃!? 書評劇場』(2015、笠間書院)。

万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気上昇中の若手万葉研究者。MBSラジオ「上野誠の万葉歌ごよみ」やNHKラジオ「ないとえっせい」などにより、『万葉集』を学ぶことの楽しさを、多くの人びとに伝えている。



研究のテーマは、万葉挽歌の史的研究と、万葉文化論。第12回日本民俗学会研究奨励賞受賞(1992年、日本民俗学会)。第15回上代文学会賞受賞(1998年、上代文学会)。第7回角川財団学芸賞受賞(2009年、角川財団)。歴史学や考古学、民俗学を取り入れた万葉研究で、学会に新風を送っている。

講師からの一言

人は、パンのために生きる者に非ず。言葉をかけて育てられ、言葉で考え、愛の言葉で結ばれ、時に別れ、そして遺言を残して生きてゆく。だとすれば、今私たちに残されているのは、言葉を鍛えることかもしれない。そして、もう一つ大切なことがある。その言葉の深みを知ることである。言葉は、その言葉を使った人の歴史を背負っている。私の体に宿っている言葉は、父の言葉であり、母の言葉であり、先祖の言葉なのだ。

古典研究の立場から、何をどう考えてゆけばよいのか、考えてみたい。といっても、名案があるわけではないのだけれど。



阪神電車「鳴尾」駅下車、南東へ徒歩7分。大学へのアクセスは本学ホームページをご覧ください。駐車場はありません。

お問い合わせ先

武庫川女子大学日本語日本文学科準備室
電話:0798-45-9702 Fax:0798-45-3555
mail:uedak@mukogawa-u.ac.jp

主催

武庫川女子大学文学部 日本語日本文学科
武庫川女子大学短期大学部 日本語文化学科